

学校だより

プラタナス



4 月

令和4年4月7・8日

市川市立市川小学校
校長 小籠 宏

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>

新年度を迎えて ～学校経営方針について～

お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。校庭の桜の花をはじめ、木々の新芽や春の息吹は、子供たちの新たなスタートを祝ってくれているかのようです。

本年度、蜂須賀 久幸校長の後任として着任いたしました小籠 宏（こかご ひろし）です。昨年度は、教育委員会に勤務をしておりました。1年ぶりの学校勤務にあたり、市川小学校の校庭に一歩足を踏み入れた時から、喜びと緊張、そして校長の職責の重さを強く感じております。市川小学校の子供たちのために、教職員が力を合わせて教育活動に取り組んでいきたいと思っております。

学校教育目標

夢の実現に向けて行動する子供の育成

～ 意欲・行動・自信・創造のサイクル ～

学校教育目標は、本校がめざす普遍的な教育理念です。教育活動の根底となるもので、これまでのものを引き継ぎました。私自身、この目標にある「夢」という言葉に大きな魅力を感じました。無限の可能性を秘めた子供たちが「夢」に向かってさまざまな学習・生活を積み重ね、未来の社会を生きるための「力」を育ててほしいと思っております。その中で重点に掲げたいのが、以下の2点です。

(1) アナログとデジタルのベストミックス

昨年度9月から、子供たち一人一人に学習用端末（以下「タブレット」と表記）が順次配付されました。（2年生はこれから、1年生はしばらくしてからの活用となります。）タブレットの活用を推進しながら、発達段階に応じて適切な活用方法を検討していきたいと考えています。これまで学校教育が培ってきた学習方法にタブレットをはじめとするICT機器を効果的に取り入れることで、「個別最適化され創造性を育む学び」の実現に向けて取り組んでいきます。

(2) 「新たな生活スタイル」の推進

市川市教育委員会・校長会連絡協議会が共同で作成している「新たな学校生活ガイドライン」が改訂されました。新型コロナウイルス感染症がなかなか終息しない中ではありますが、皆で感染の広がりを防ぎながら、学校での学びを止めることなく、実りのある生活を進めていきます。これからはさまざまな制限、そして変更がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

子供たちの健全な成長への取り組みは、学校だけでできるものではありません。家庭をはじめ、地域の方々などのお力が必要です。たくさんの方々のさまざまなご意見をいただき、生かしながら学校経営にあたる所存です。今後ともご支援のほど、よろしく願いいたします。

【次号は、入学式後に、教職員の紹介を含めた内容で発行予定です。】